

東京湾海況情報 24-3

東京湾水質調査結果（平成24年6月）
（平成24年6月15日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 6/7：内湾(わかふさ)、6/4：内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(6/7)、東京湾口海況図(6/7)、東京都環境局(6/7)
モニタリングポスト(6/7：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
神奈川県水産技術センター(6/1)

今月の観測は6日に通過した台風3号に伴い、内湾と内房海域の海況が変化した可能性があるので、海域ごとに区分して掲載してあります。

【水温・塩分の状況】

湾内の表層水温、塩分は(図1)はほぼ20~21℃台、26~32PSU台前半になっています。これまで高めあった水温はほぼ平年並みになり、塩分は内房海域で平年より1~2PSU程度低くなっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、内湾中央部(st.3~6)の水深10m付近にやや弱い水温躍層が認められています。

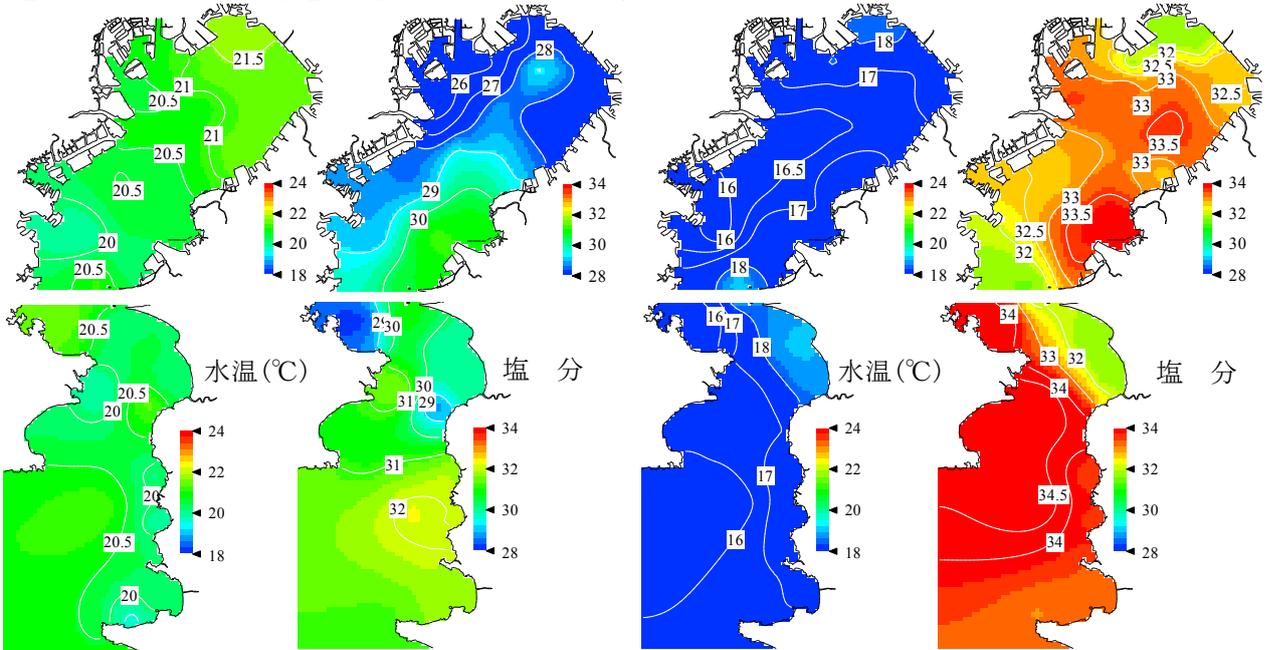


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

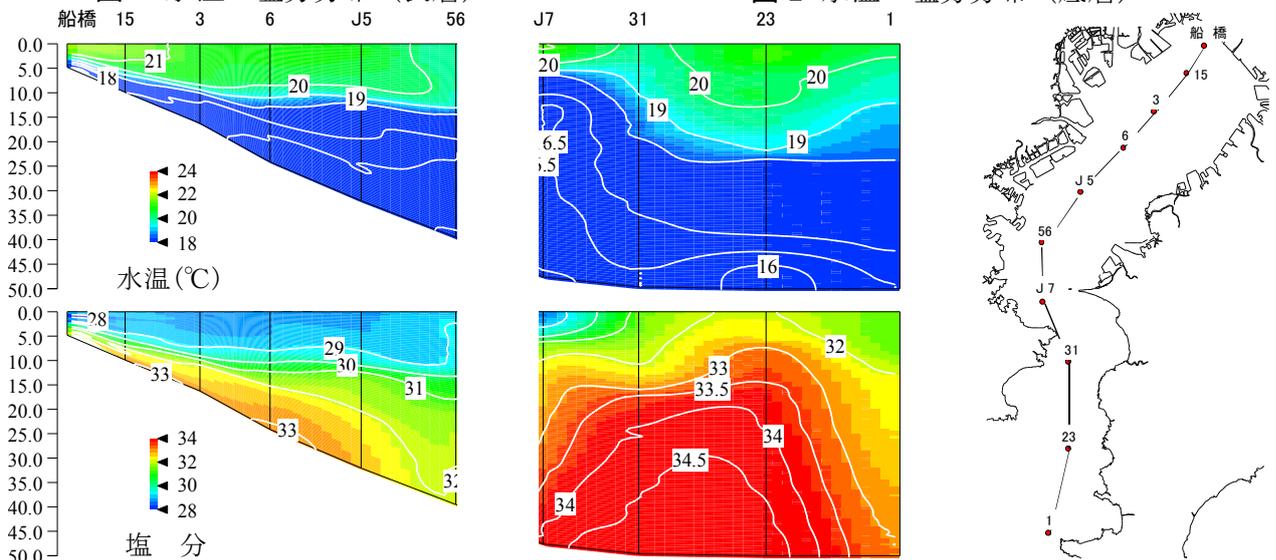


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は内湾中央から北部で発生し、東京灯標付近及び船橋から千葉にかけての沿岸ではpHは8.5~8.7、透明度1.6~1.8mで、水色も褐~茶褐色を呈する程の状態です。

優占種は繊毛虫類のミリオネクタ ルブラ (*Myrionecta ruba*) で、有鐘繊毛虫及びケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.)、渦鞭毛藻のディノフィシス (*Dinophysis acuminata*) も多くみられています。

一方、内房海域はケイ藻類で、保田から富浦にかけての周辺では、主にキートケロス (*Cheatocecos pseudocurvisetum*) でした。

※ 千葉県赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

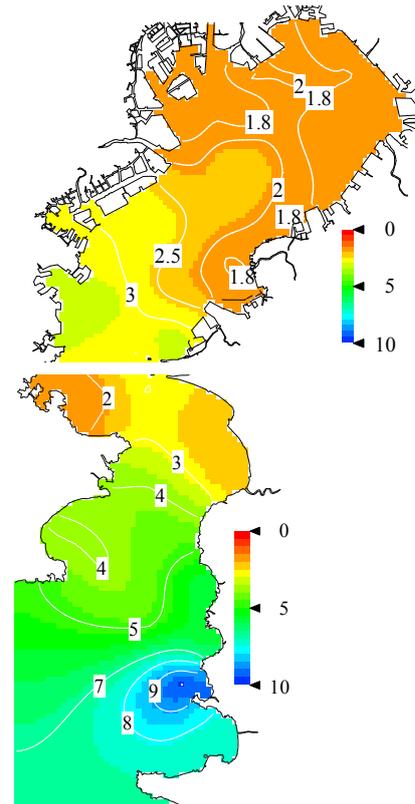


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5)は北部海域で低下し、湾奥では 1ml/L以下の強い貧酸素水塊(図6)が海底から数メートルの厚さで分布しています。

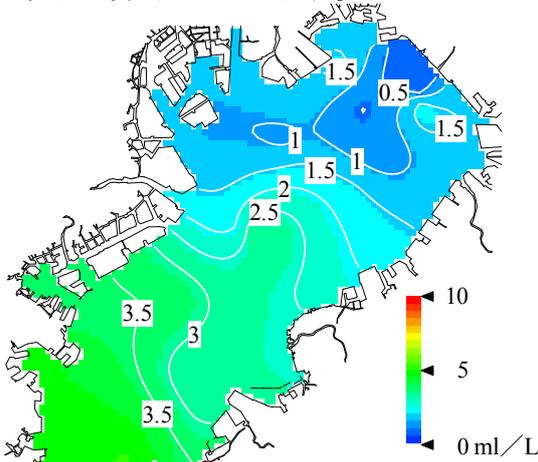


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

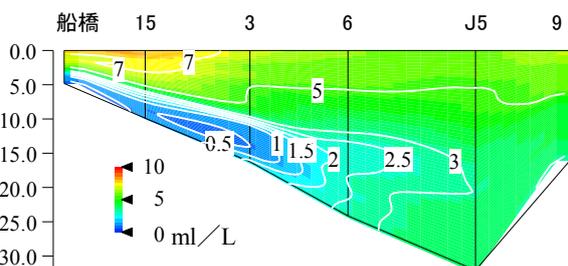


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は保田~館山湾にかけて溶存無機態窒素(DIN)が平年より少なくなっていますが、ほぼ全域で平年並みからやや多くなっています。

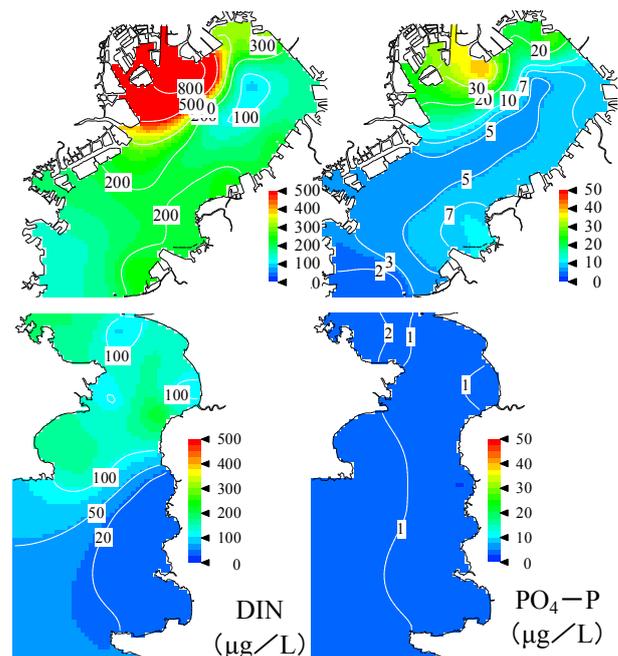


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はほぼC型基調で推移し、その流軸は7日現在八丈島南を迂回した後、北上しながら、房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

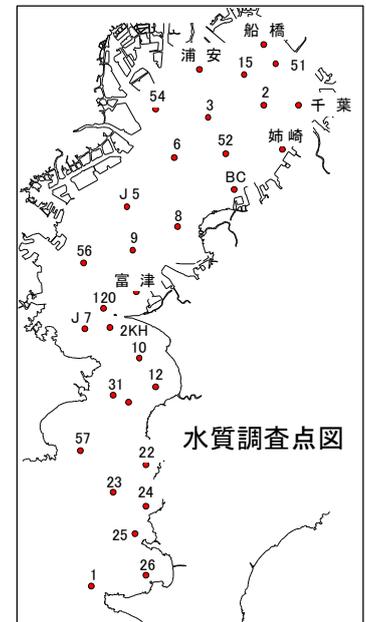
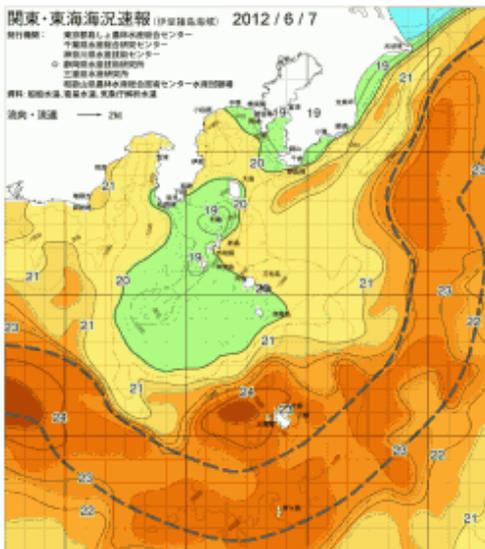


図8 黒潮の動き (平成24年 6月 7日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
 (): 最近10年間の平均値 (2002~2011年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	21.6 (21.8)	27.57 (27.66)	1.6 (1.6)	8.5 (8.8)	0.4 (3.7)	19 (42)	307 (191)	25 (13)	34.7
	st.15	21.5 (21.8)	28.88 (27.31)	2.0 (1.5)	8.7 (8.8)	0.5 (2.5)	13 (64)	134 (231)	7 (12)	22.8
	st.3	20.7 (21.3)	28.35 (27.16)	1.9 (1.7)	8.6 (8.8)	1.6 (1.6)	16 (51)	229 (224)	9 (19)	36.5
	st.6	20.6 (21.1)	28.53 (28.78)	2.4 (2.1)	8.6 (8.8)	2.6 (2.3)	20 (38)	220 (131)	5 (7)	18.1
	st.9	20.3 (20.4)	31.79 (30.31)	2.3 (2.8)	8.5 (8.6)	2.8 (3.5)	9 (22)	178 (85)	6 (3)	18.1
	st.BC (盤洲Cブイ)	21.1 (21.1)	30.07 (29.88)	1.8 (2.5)	8.6 (8.6)	2.1 (3.4)	14 (26)	221 (109)	7 (7)	25.8
	st.8 (盤洲A南)	20.3 (20.8)	31.63 (30.86)	1.8 (2.9)	8.5 (8.5)	2.7 (3.1)	13 (19)	204 (67)	8 (4)	17.9
	富津	20.0 (19.9)	31.81 (30.97)	3.2 (5.1)	8.2 (8.4)	3.2 (3.8)	22 (27)	228 (99)	5 (4)	7.0
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	20.1 (19.9)	30.77 (31.75)	3.0 (4.4)	8.4 (8.4)		5 (20)	79 (80)	1 (4)	13.4
	st.31	19.8 (19.5)	31.28 (32.17)	4.0 (5.0)	8.4 (8.4)		5 (26)	104 (83)	1 (5)	12.5
	st.23	20.9 (20.2)	32.06 (33.12)	5.0 (7.7)	8.5 (8.3)		8 (26)	13 (54)	1 (4)	9.5
	st.1	20.2 (20.5)	31.16 (34.00)	7.5 (12.7)	8.4 (8.2)		13 (13)	22 (19)	1 (2)	7.0
	st.10 (下洲沖)	20.3 (19.6)	29.67 (32.01)	2.5 (4.8)	8.5 (8.3)		8 (18)	138 (64)	1 (3)	13.9
	st.12 (湊沖)	20.2 (20.0)	29.81 (32.00)	2.5 (5.2)	8.5 (8.4)		11 (17)	106 (59)	1 (2)	
	st.22 (保田沖)	19.9 (20.2)	31.74 (33.53)	6.0 (8.8)	8.5 (8.3)		3 (14)	4 (26)	ND (1)	4.2
	st.24 (富山沖)	19.8 (20.5)	32.00 (33.68)	6.5 (9.0)	8.4 (8.3)		3 (12)	4 (17)	ND (1)	5.4
st.26 (館山湾内)	20.1 (20.5)	31.67 (34.00)	7.5 (11.8)	8.4 (8.3)		5 (12)	13 (15)	1 (1)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。